

関東鉄道竜ヶ崎線で行こう！ エッグライトイルミネーション

作成日:2026年9月29日

グループ:駅前イベント

この企画の趣旨

イースターに着目し、エッグライトを活用したイルミネーションイベントを竜ヶ崎駅周辺で開催する。

来場者がデザインしたエッグライトを会場に飾ることで、みんなでつくるイルミネーションを演出するとともに、列車内の装飾やドリンク販売、屋台・キッチンカーの出店などを行う。

若者を中心とした幅広い世代の来場を促し、駅周辺のにぎわい創出と関東鉄道竜ヶ崎線の活用促進につなげる。

イースターとは...

イエス・キリストが復活したことをお祝いする日・春の訪れを喜ぶ日

卵は生命の誕生のシンボル

なぜ龍ヶ崎市にこの企画が必要なのか

現在の龍ヶ崎市の課題

- ・ 若者が集まり、交流できる機会が少ない
- ・ 4月に開催されるイベントが少ない
- ・ 駅周辺のさらなるにぎわい創出が必要
- ・ 関東鉄道竜ヶ崎線を利用するきっかけが必要
- ・ 市内の地域資源を活かしたにぎわいづくりが必要

ターゲット層

20代(学生)・小さい子供連れの家族をターゲットとする

- ・特に、普段竜ヶ崎駅を利用する機会が少ない人々を対象とし、イベントを通して駅前を訪れるきっかけや、地域住民同士が交流する場を創る
- ・今まで龍ヶ崎市にはなかったフォトジェニックな空間を生み出し、若い世代の方々に龍ヶ崎市の新たな魅力を知ってもらう

なぜ市が実施すべきか

竜ヶ崎駅でイベントを行うことにより、関東鉄道竜ヶ崎線の活性化につながるため、市が主体となって地域住民・事業者・学生等をつなぐことで、継続的な交流と竜ヶ崎駅前の活性化を図る

企画内容

● エッグライトイルミネーション (17:00～21:00) ●

- ・ エッグライトに自由にデザイン
→完成したライトを飾り付け
- ・ 列車内(1両)でドリンク販売 ☕
- ▶値段：150円～200円
- ▶種類：オレンジ、カルピス、リンゴ、ウーロン茶など
- ・ 列車内をイースター仕様に装飾 🐰
- ・ 電車利用者：無料でエッグライトプレゼント
- ・ 徒歩や車：有料で販売（市役所の駐車場を利用）

駅前では...

竜ヶ崎駅周辺にキッチンカーを出店できるブースを設置

→列車と駅を活用した、イースターを楽しめるイベント!

予算

購入品		金額
エッグライト大	50個	325,000円
エッグライト小	1000個	241,000円
エッグライト（客用）	200個	48,200円
うさぎライト	15個	30,000円
2ℓペットボトル	20～25本	5,000円
プラコップ	100個×3袋	2,000円
計		651,200円



➡一両をイースター仕様に装飾する場合

装飾	目安
イースターガーランド	1,000～1,500円
卵、うさぎなどの装飾	1,000～2,000円
窓用ステッカー、装飾	1,000～2,000円
リボン、吊り下げ装飾	500～1,000円
テープ、固定用品	500～1,000円
計	約4,000～7,500円

必要なもの

▶ 装飾

- ・ エッグライト(大小)
- ・ うさぎライト
- ・ ライト装飾用のペンやシール
- ・ 列車内の装飾

▶ 飲食

- ・ 販売用飲料
- ・ コップ

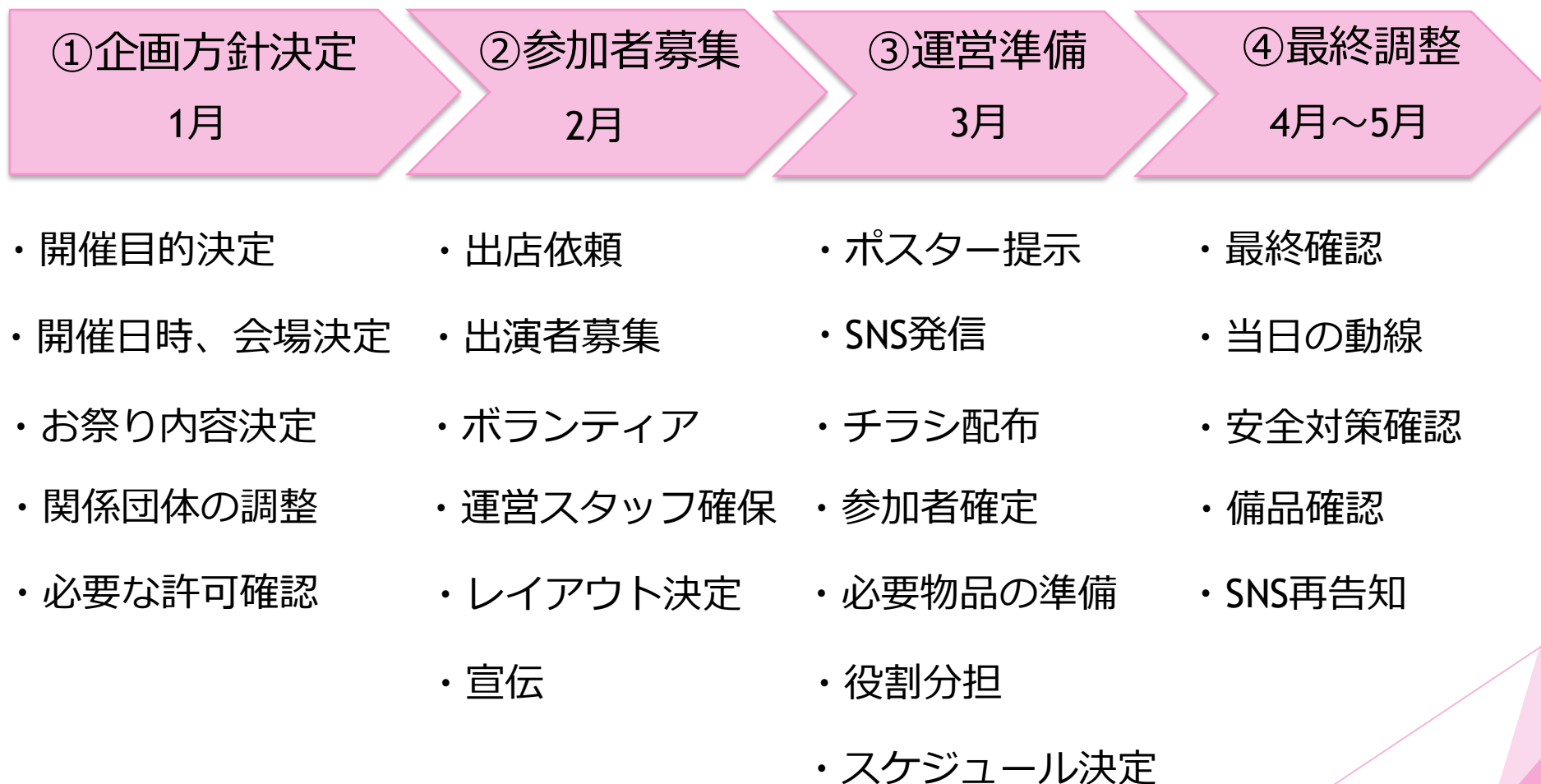
▶ 宣伝

- ・ ポスター
- ・ チラシ

▶ 会場

- ・ 本部用テント、机、椅子
- ・ 案内用看板、ポスター
- ・ 駐車場案内
- ・ ゴミ袋

実施スケジュール（仮）



ポスターイメージ図

掲示場所

- ・ JR龍ヶ崎市駅内エスカレーター
- ・ 入地駅、竜ヶ崎駅
- ・ 市内大学、小中高等学校
- ・ 市内の商業施設
- ・ 市役所



イメージ図



この企画の強み①

▶ 「みんなでつくる」参加型イベント

- ・ 自分だけのエッグライトをデザインできる
- ・ 作ったエッグライトが会場のイルミネーションになる
- ・ イースター×イルミネーションという新しい組み合わせ
- ・ 子どもから大人まで楽しめる

この企画の強み②

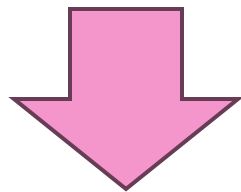
▶ 駅と地域をつなげ、にぎわいを生み出せる

- ・ 竜ヶ崎駅をイベントの拠点として活用できる
- ・ 関東鉄道竜ヶ崎線の利用促進につながる
- ・ 地元企業・地域事業者と連携できる
- ・ 学生・地域住民も参加できる
- ・ 駅前のにぎわいと地域交流を生み出せる
- ・ 今後も継続・発展できるイベントにできる

終わりに

エッグライトの光をきっかけに、若者をはじめとした幅広い世代が
龍ヶ崎に集まり、楽しみ、交流できる場をつくる。

イースターという新たな魅力を取り入れ、龍ヶ崎駅周辺を彩ること
で、地域のにぎわいを生み出すとともに、関東鉄道龍ヶ崎線を利用
するきっかけにつなげる。



**「また来たい」「また乗りたい」と思ってもらえる龍ヶ崎を、
みんなでつくっていく**